提案名 『青空のもとで本のタイトルあてクイズ』

提案者氏名：三神和子

○提案内容等

公園で、休日に2,3年間小学校の中・高学年、ばらまくカードの数は参加する子供の数によって適宜変更。
本（物語）の一節を書いたカードを公園の芝の上に裏返してばらまく。
よーいどんで走って行って、子どもたちが一枚ずつカードを拾いに行き、拾ったカードに書かれた一節から本のタイトルを当てる。そして、その本の感想を述べてもらう。
カードの一節の例：
「カンパネルラ、また僕たち二人きりになったねえ、どこまでも一緒に行こう。僕はあのさそりのように本当にみんなの幸いのためならば、僕のからだなんかひゃっぺん焼いてもかまわない」
「時間にはカレンダーや時計がありますが、測ってみたと岐路で、あまり意味はありません。というのは、だれでも知っている通り、その時間にどんなことがあったかによって、わずか一時間でも永遠の長さに感じられることもあれば、ほんの一瞬と思われることもあるからです。なぜなら、時間とは生きるということ、そのものだからです。」

○連携先等

豊島区の図書館を主体にして、カードを作成するボランティアの委員会を作る。

○提案内容の想定される効果

子どもの本への興味を抱かせる。本の一節を扱うので、本を丁寧に読む習慣ができる。

○その他

子どもたちがマイクの前でみんなに聞こえるように話す練習もできます。
観客になる子どもや大人が必要です。